

経営比較分析表（令和2年度決算）

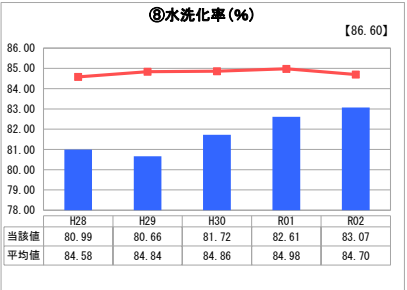
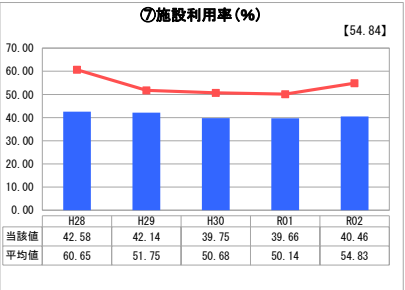
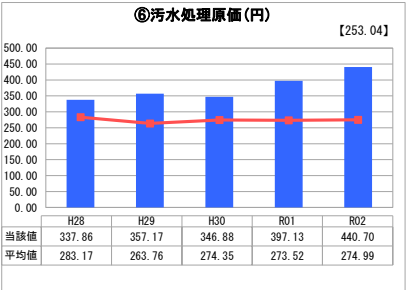
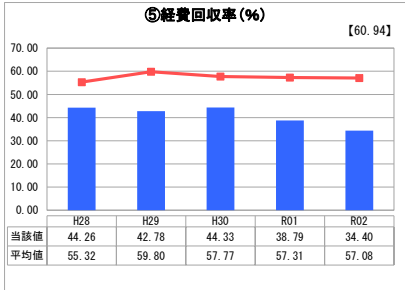
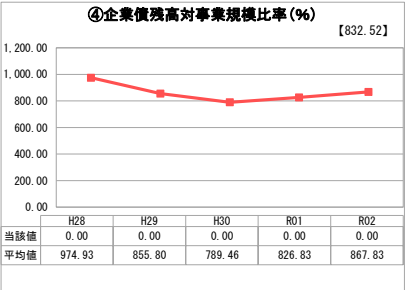
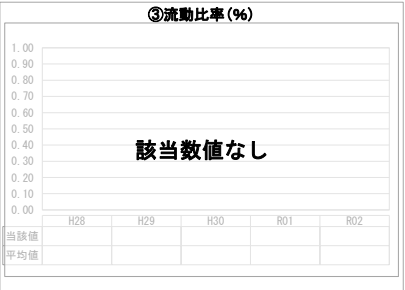
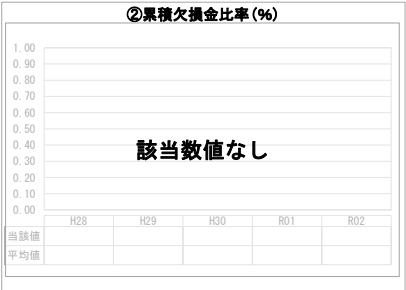
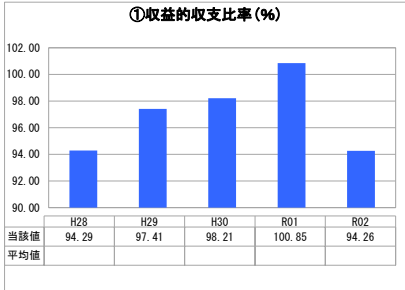
大分県 杵築市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	6.33	94.21	3,390

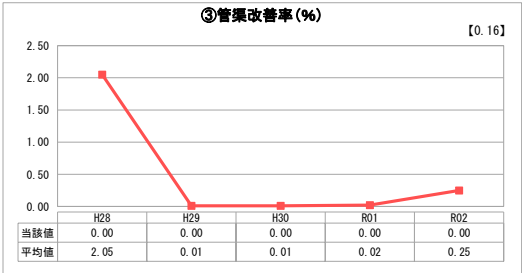
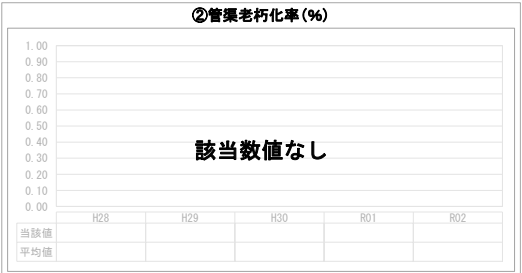
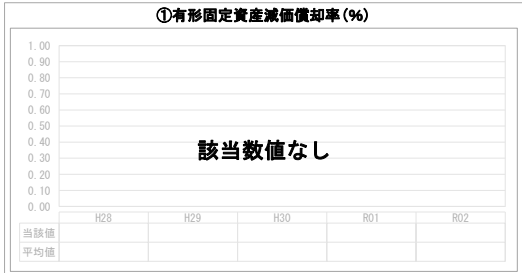
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
28,235	280.08	100.81
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,772	1.21	1,464.46

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①『収益的収支比率』・・・[料金収入や一般会計からの繰入金等の総収益で、総費用に地方債償還金を加えた費用をどの程度賄えているかを表す指標] 繰越事業の関係で費用の増加があり前年度から下がっている。今後も収益増を図る必要がある。

④『企業債残高対事業規模比率』・・・[料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標] 一般会計繰出基準に該当しているため、平成28年度から見直しを行っている。

⑤『経費回収率』・・・[使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標] 類似団体と比較すると下回っている。修繕費等の汚水処理費の増によりH30年度から減少傾向にある。

⑥『汚水処理原価』・・・[有収水量1mあたりの汚水処理に要した費用であり、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標] 類似団体と比較して高くなっている。修繕費等の汚水処理費の増によりH30年度から増加傾向にある。改善するためには、費用の削減及び有収水量を増やす必要がある。

⑦『施設利用率』・・・[施設・設備が一日に対応可能な処理能力に対する、一日平均処理水量の割合であり、施設の利用状況や適性規模を判断する指標] 類似団体と比較しても低くなっており、40%付近で推移している。

⑧『水洗化率』・・・[現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標] 少しずつ上昇しているが、類似団体と比較して低くなっている。更なる向上を図るため、加入促進等の対策が必要である。

2. 老朽化の状況について

③『管渠改善率』・・・[当該年度に更新した管渠延長の割合を表した指標] 供用開始後、耐用年数経過までに期間があるため、老朽化対策としての管渠改善は行っていない。

全体総括

杵築市の農業集落排水は、投資した経費に見合った収入を得ることができておらず、経営が良好とはいえない状態である。今後も、処理区域内人口の減少により、施設利用率や水洗化率が減少し、収益が減少すると考えられる。

令和4年度から事業の一部を特定環境保全公共下水道に統合し、維持管理費の削減を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。